

第11回長野県高体連テニス部顧問総会 会議録

10:00～ 松本市浅間温泉庭球場本部棟

1. 次第 司会：宮島 記録：藤森

- 1) 各地区専門部の反省と現状報告 中村、堀内、竹内、藤森
- 2) 県専門部の反省と現状 宮島
 - ① 県総体 ダブルスの出場枠拡大について
地区総体：各校6本 県出場各地区8本の32ドロウで実施
地区大会・県大会ともに好評であった。
 - ② 学校行事による出場取り消しについて
予選・本選にエントリーした個人・団体は、「特別な理由」が無い限り、出場を取り消すことはできない（予備日も含めて）。修学旅行などの学校行事は、エントリー時点ですでに計画されており、「特別な理由」に当たらない。
「特別な理由」のケース
 - 病気や怪我による体調不良（診断書の提出が必要 県大会省略）
 - 家族の不幸や、専門部で認めた場合
 - レフェリーが現場で判断し、認められた場合また、予選・本選の団体戦メンバーを学校行事参加のため、大幅に入れ替えることも認めない。
 - ③ チーム対抗戦におけるコーチングについて
対戦している試合開始から終了までベンチコーチ以外の第3者からのアドバイスは禁止されます。
テニスは本来だれからのアドバイスも受けずに、選手自身が戦うスポーツです。特例として、チーム戦の試合コートにいるベンチコーチのみにアドバイスが認められています。このベンチコーチへのアドバイスはいかなる方法でも禁止されています。
 - ④ 試合中コンタクトがずれてしまった場合
紛失や破損の場合と同様に、理にかなった時間内で直すことができる。
 - ⑤ チーム対抗戦におけるリタイア後の試合出場について
ドクター・トレーナーがいない大会では、選手の身体的ダメージを判断する人がいないため、レフェリーが判断をすることになります。選手がこれ以上プレーすることが無理だと判断すれば、リタイアを認めます。次の試合開始前には、その選手の身体的状況が改善されて、プレー可能な状態であると確認できれば、次の試合出場を許可します。十分なプレーができないと判断すれば、次の試合出場を認めない場合があります。
高体連ルール：チーム対抗戦におけるリタイア当日の試合出場は認めない。（同日に行われる個人戦への出場は可能）JTAとは異なり、高体連の団体戦は1日に連続で何試合も行います。したがって、前の試合でリタイアした選手が次の試合までに回復できるとは考えにくいからです。
 - ③～⑤はJTA審判委員会の回答
 - ⑥ チーム対抗戦における審判への確認
審判への確認は、選手・ベンチコーチ（監督）が行うことができる。ただし、高体連主催大会は高校生が審判を行うため、事実関係の確認を監督が行うことにより、無用な圧力を感じさせることがある。したがって、選手自身で行うことが望ましい。
- 3) 全国、北信越委員会から 宮島
 - ① 全国高体連テニス部環境調査報告
登録者数は10万人を切り98,517名に。依然として減少続く！
バレーボールに追い抜かれた昨年度4位の登録者数は、547名差で抜き返し再び3位に。
秋季選手権大会のA級出場枠は、春の高体連登録人数で比例配分しています。
マネージャーを含む全部員の登録をお願いします。

②歌や複数部員による連呼は試合前の練習時間のみにしてください。

↓変更

- ・試合前の練習時間のみに、歌を入れての応援を許可する。ただし、なるべく隣のコートの試合に配慮する。
- ・それ以外の応援は、組織だった応援でも良いが、相手を威圧するような応援は控える。
- ・個人戦は原則拍手のみ。

長野県大会、4地区大会も全国に準ずる。

③海外遠征届けの提出徹底（45日ルール）

④全国選抜高校テニス大会個人戦からセットブレークルール導入

- ・団体戦は今までどおり→**来年度個人戦から全国に準ずる**

⑤ウォームアップ着用時のロゴ規定は適用しない。ただし、テニス用でないウォームアップ、その他の不適切なウェアは認めない。

長野県大会、4地区大会も上位大会に準ずる。（来年度入学生から実施）

⑥ボールパーソンの服装は選手に準ずる（Tシャツ、学校ジャージ等不可）

4地区でも努力目標として。

⑦ベンチコーチの方法について

2～3面進行の場合 コート間のベンチに座って2面分のベンチコーチはできない。必ず、そのコートのベンチに移動をして行うこと。

また、隣のコートでプレーする選手がアドバイスを受けるため監督のベンチへ移動することも禁止。

4) 質疑、討論

2. 今年度の反省・次年度への要望

①大会日程

- ・青森インターハイ 8月9日～16日 新青森県総合運動公園テニスコート
- ・全日本 Jr 7月29日～8月8日 大阪府鞆テニスセンター

調整後、HPにてお知らせします。

②競技内容

- ・長野県新人戦の第2代表決定戦は今までどおりの方法で行います。

要望

- 1) 秋季選手権の各校出場枠を拡大できないか？
A: 北信地区予選は3日間日程で行われている→現状では無理
すでに、県総体の出場枠も拡大し努力している
- 2) 秋季選手権でロービングアンパイアを配置できないか？
A: 各校の引率顧問にお願いすることは不可能。
協会等にお願いすれば可能だが、参加料の値上げが必要となる。
- 3) ダブルスのシード基準を検討してほしい。
A: 現在の組み合わせ規定を変更することは難しい。シングルスのようなポイント制にするためには、ダブルスの大会が少ない。また、大会を増やすことは日程・会場の面から難しい。

③その他

- ・練習試合時の対戦チーム監督への挨拶について
現在、習慣的に行われている、各試合毎の挨拶は行わない。
- ・大会本部への大会後の挨拶について
閉会式が行われるような大会・合同練習会等では大会後の挨拶は行わない。また、閉会式前に帰るチームは、代表者のみの挨拶とする。

4. 連絡

①1年生チームダブルスダンロップ・新人チーム対抗戦 (Xmas YONEX Cup)について

②軽井沢フェスティバル (東信地区主管) について 4/23～24予定している